## 大船渡湾内観測結果(No.7)

"今月の話題"

水温は前月より低下し、ほぼ平年並でした。

溶存酸素量はSt.1で低い値となり、表層を除く海底までの全層で、水産用水基準値を下回る低酸素状態でした。

10月22日に実施した大船渡湾内観測結果をお知らせします。 水温は前月より低下し、ほぼ平年並みでした。

クロロフィル蛍光値は、表層および2.5m層で15m層よりも高い値となり、2.5m層付近で植物プランクトンが多く出現していると考えられました。

溶存酸素量はSt.1で低い値となり、表層を除く海底までの全層で、 水産用水基準値を下回る低酸素状態でした。潮流等で溶存酸素が 少ない水塊が湾内を移動することも考えられるので、養殖生産物の 状態に注意してください。 海域名:大船渡湾

調査担当:水産技術センター、大船渡市

観測点(St.)		1 (湾奥)	2(清水)	3 (珊瑚島)	4(蛸の浦)	5(船河原)	6(片頭)
観測年月日		令和7年10月22日					
観測時刻		12:25	12:45	11:35	11:11	10:38	9:47
水深(m)		8.5	23.8	27.7	17.1	22.9	37.9
透明度(m)		5.5	9.5	7.0	7.5	11.5	8.0
水色		5	5	6	6	5	4
水温(℃)	表層	20.7	19.6	19.0	19.0	19.3	19.1
	2.5m層	20.7	20.5	19.5	19.4	19.4	19.2
	10m層	-	19.7	20.1	19.9	19.7	19.7
	15m層	_	19.5	19.6	19.4	19.5	19.4
	底層	20.2	19.1	18.9	19.3	19.1	18.6
塩分	表層	33.36	32.23	32.02	32.48	32.48	32.60
	2.5m層	33.62	33.47	32.83	32.73	32.83	32.63
	10m層	_	33.65	33.66	33.64	33.61	33.60
	15m層	_	33.71	33.67	33.70	33.65	33.69
	底層	33.68	33.78	33.81	33.73	33.75	33.83
溶存酸素量(mg/L)	表層	4.6	6.5	6.7	6.6	6.6	6.5
	2.5m層	3.6	6.3	6.5	6.3	6.4	6.5
	10m層	_	6.5	5.5	5.8	6.8	6.7
	15m層	_	6.1	5.7	6.3	6.9	6.8
	底層	3.7	5.2	4.6	6.3	6.8	6.1

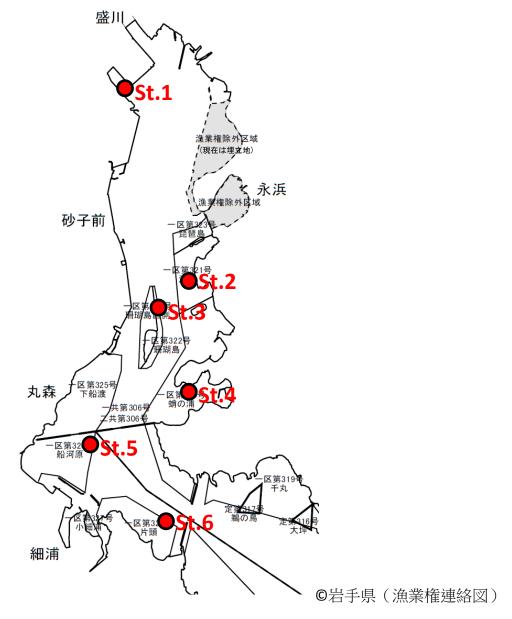


図1 大船渡湾調査定点図

※ St.1からSt.6において透明度の観測や表層Omから海底上1mの水質を観測した。

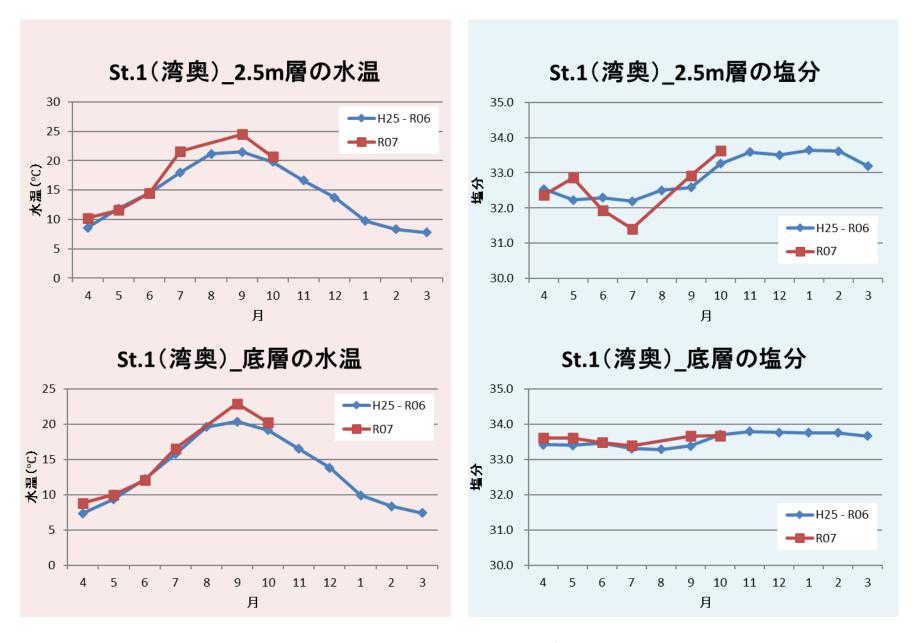


図2 St.1(湾奥)の水温及び塩分の推移

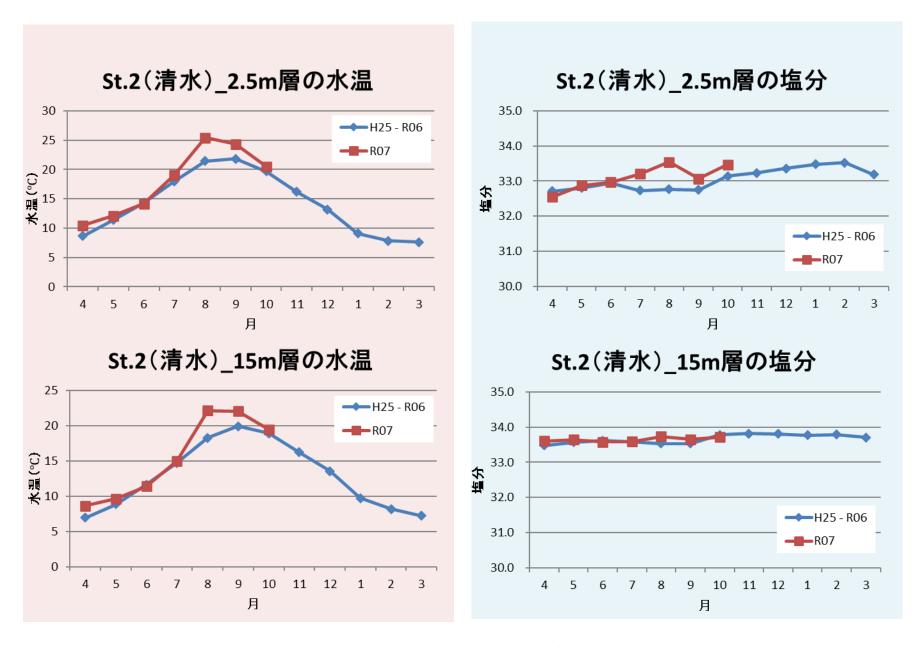


図3 St.2(清水)の水温及び塩分の推移

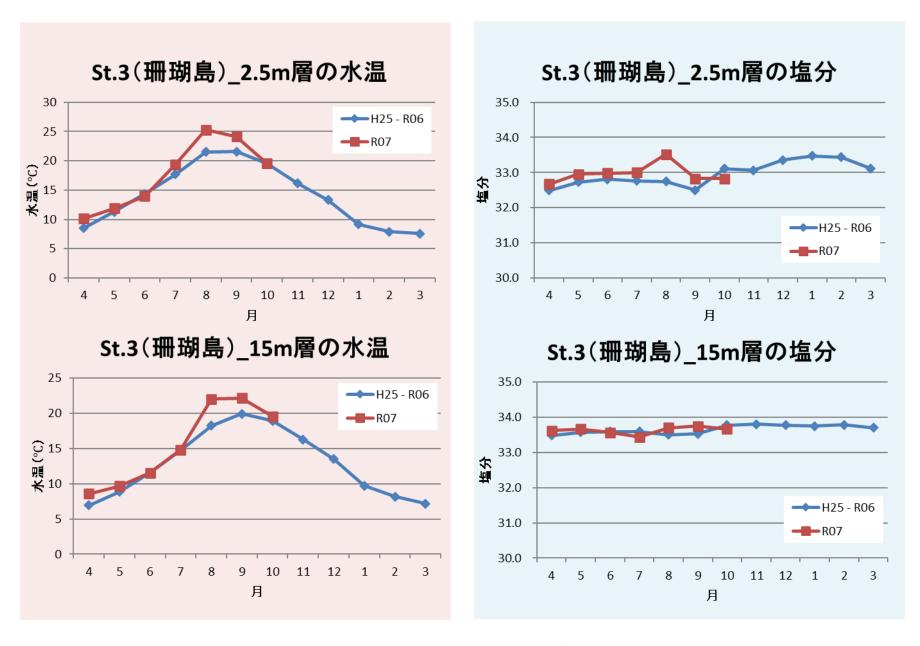


図4 St.3(珊瑚島)の水温及び塩分の推移

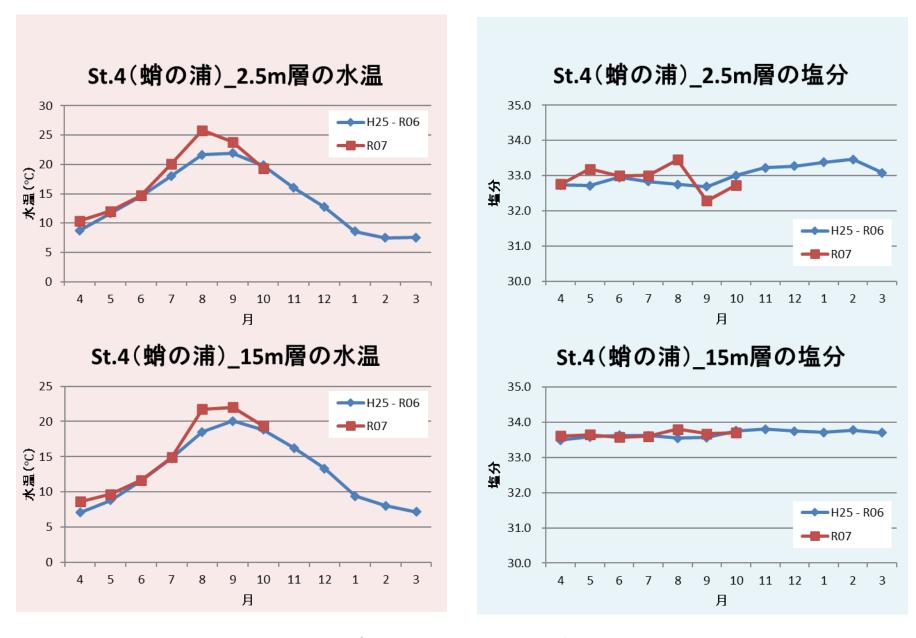


図5 St.4(蛸の浦)の水温及び塩分の推移

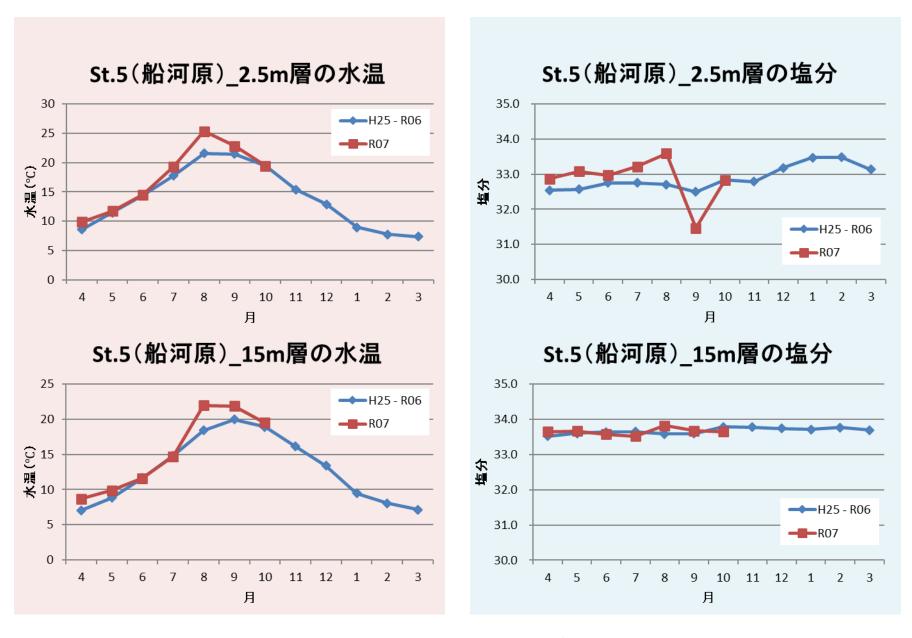


図6 St.5(船河原)の水温及び塩分の推移

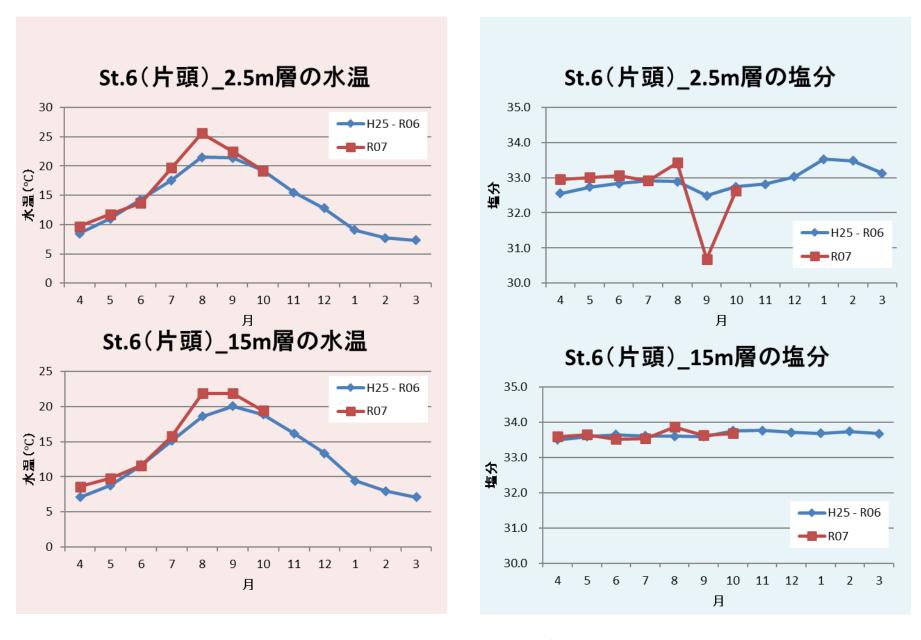


図7 St.6(片頭)の水温及び塩分の推移

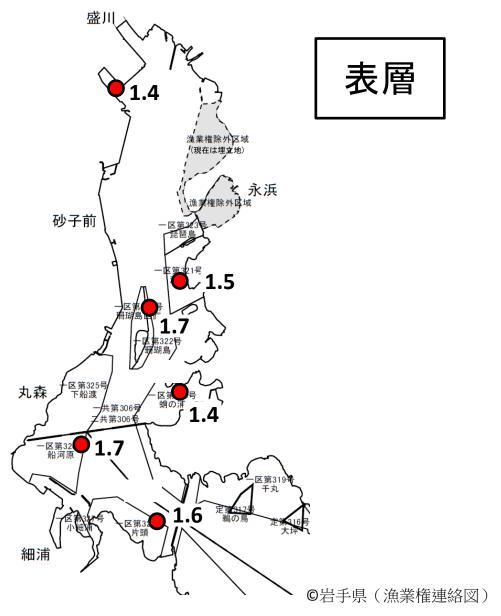


図8 表層のクロロフィル蛍光値

※水質計で測定した値であり、正確な濃度ではありません。湾内の相対的な比較としてご利用ください(月をまたいでの比較はできません)。

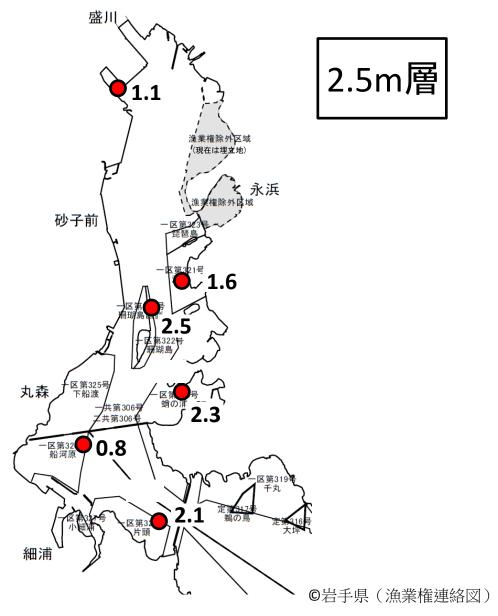


図9 2.5m層のクロロフィル蛍光値

※水質計で測定した値であり、正確な濃度ではありません。湾内の相対的な比較としてご利用ください(月をまたいでの比較はできません)。

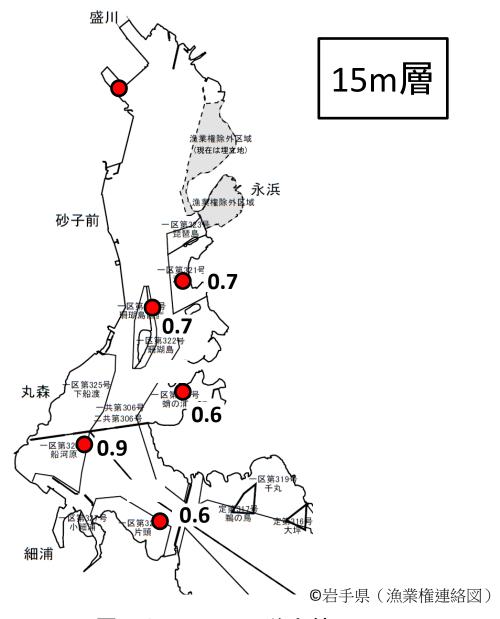


図10 15m層のクロロフィル蛍光値

※水質計で測定した値であり、正確な濃度ではありません。湾内の相対的な比較としてご利用ください(月をまたいでの比較はできません)。St.1は水深約10mでした。